

審判講習会講習会資料

目次

P.1～P.2	2023年度ルールの取り扱いについて
P.3～P.4	1st レフェリー・2nd レフェリーの責務について
P.5	プロトコールについて
P.6	試合中について
P.7～P.8	試合の中断の要求について
P.9	セット間～次セット開始までについて
P.10～P.13	ラインジャッジについて
P.14～P.17	記録用紙の書き方について

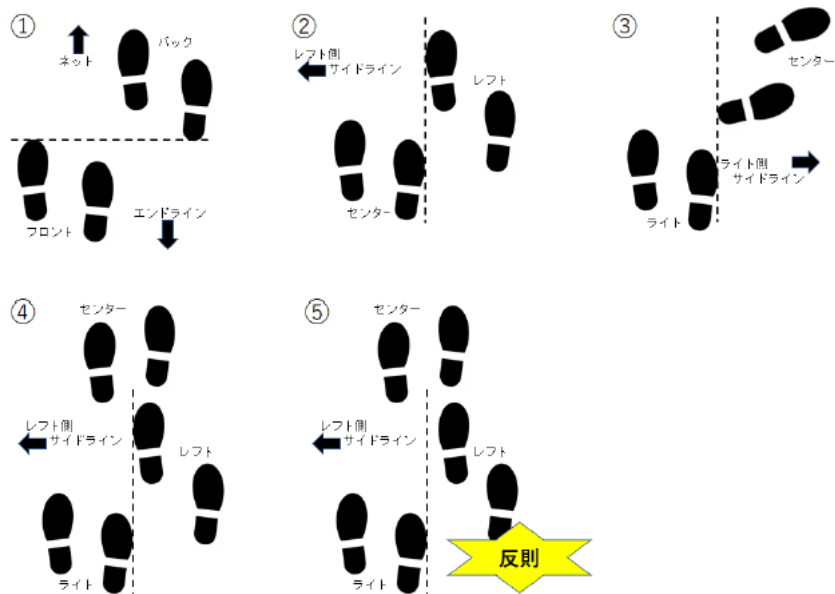
1. チームリーダー (R5)

リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。

2. スタートラインアップ (R7.3) ラインアップシートが提出されたら(実際の運用では両チームのラインアップがスコアシートに記入し終えたら)、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。ただし、スタートラインアップの選手が試合前に負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することが可能である。(この変更は選手交代に含まれない。)

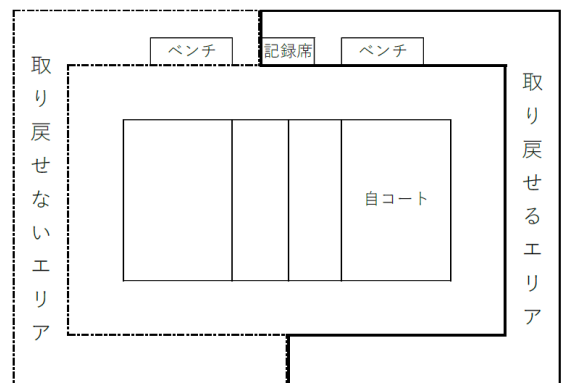
3. ポジションの反則 (R7.4.3)

前後・左右の関係で、両足が完全に入れ替わった状態が反則となる。【反則ではない】【反則となる】(左右・・レフトとセンター、ライトとセンターの間には反則はないが、レフトとライトが完全に入れ替わっていれば反則となる。)



4. ボールをプレーすること (R9)

ボールは、自チーム側のフリーゾーン外とその延長線上にあるスコアラーズテーブル上から取り戻してもよい。スコアラーズテーブルの後方は、自コートのフリーゾーン外側と同様に取り戻すことができる。相手チームについては、フリーゾーン外側の垂直面より内側であれば、ボールを取り戻すことができる。



5. スクリーン (R12.5.1~2)

サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで隠すことでスクリーンとなる。サービスヒットまたはボールのコースがレシービングチームに見えるのであれば、スクリーンではない。

6. 相手空間内でのブロック (R14.3)

ブロックの反則 (R14.6.1) 相手チームがアタックヒットを行う前に、ネットを越えてボールに接触することは許されない。相手空間内で、相手のアタックヒットの前にブロッカーがボールに触れた場合は反則となる。アタックヒットと同時にブロックの手がボールに触れても反則ではない。

7. 正規の試合中断 (R15.2.4)

同じ中断中に要求を拒否された場合や、遅延行為に対する罰則を適用された場合は、その後に正規の試合中断 (タイムアウトや選手交代) は認められない。(次のラリーが完了すれば認められる。)

8. 退場または失格での選手交代 (R15.8)

退場または失格となった選手には、直ちに正規の選手交代が行われなければならない。もしもこれができないときは、チームには例外的な選手交代をする権利がある。これもできない場合は、チームは不完全を宣告される。(例外的な選手交代は、通常の選手交代の回数に含まれない。)

9. 服装 (R19.2) 2人のリベロは他の選手と異なる色で、さらに、お互いに異なる色のユニフォームを着用することができる。

その他 ・ペナルティエリア (R14.6)

廃止。(退場・失格となった選手,スタッフはチーム控室に行かなければならない) ※ チーム控室がない場合は競技場フロア内から出なければならない。(例; 通路, 観客エリアなど)

・タイムアウト (R15.4) テクニカルタイムアウトの条文が削除された。(= テクニカルタイムアウトがなくなった。)

2. 1st レフェリー・2nd レフェリーの責務

各審判役員の役割の重要事項

【1st レフェリー】

1st レフェリーがラリーを止める場合の手順については、

ホイッスル ➡ 得点サイドを示す ➡ 反則を示すハンドシグナル
➡ (必要があれば反則した選手を指す)

起こりそうな反則を予想して、見るのが大切である。

見ていなかったという状況が起こらないように、先に目を向ける意識を持っておく！！

最終判定を出すときは、必ずラインジャッジと2nd レフェリーを確認してから判定を出すこと！！

① ハンドリング基準の統一

… 特にシングルハンドトスの反則の多くはキャッチの場合が多い！！
ボールが回転したからといって可ならずにも反則ではない！！

② サービス許可について

… サービス許可の前に必ずセッターのポジションを確認する。最低限セッターとその対角は覚えておく。
両チームがプレーする準備ができていることを確認。
さらに、サーバーがボールを持っていることを確認後、サービス許可のホイッスル

③ 最終判定の出し方

… ホイッスル後、必要なラインジャッジと2nd レフェリーを確認後、最終判定を出す。

④ 不法な行為について

… 軽度な不法行為を見逃すことなく、早い段階でステージⅠを与える。

【2nd レフェリー】

2nd レフェリーが反則を取る場合の手順については、

ホイッスル ➡ 反則のシグナル ➡ （必要があれば反則した選手を指す）

➡ 1st レフェリーに合わせてサイドを示す

① ポジションの反則について

… サービスの前に移動したり、明らかにポジションが入れ代わっているのを見逃さない。
常に確認し、反則があれば早い段階で反則とする。

② タッチネットについて

… 選手がネット際でプレーするとき、ボールを目で追わずネット際に目を残し反則が起きていないかを確認する。

③ サービスヒット後について

… サーバーがサービスヒット後、ボールがネット上を通過する際に必ず許容空間を通過しているかを確認する（必ずボールがネット上を通過するところに目を向けること！！）。
もし2nd レフェリー側の許容空間外を通過したり、アンテナなどに触れた場合には吹笛する。

④ 中断の要求について

… ワンラリーごとにベンチコントロールを行う。

選手交代・タイムアウトをスムーズに行う。ラリー終了後は、必ず両ベンチを確認し中断の要求がないかを毎回確認する。

⑤ 不法な行為について

… 1st レフェリーが気づかない不法な行為があれば1st レフェリーに伝える。

<MEMO>

3. プロトコールについて

	1st レフェリー	2nd レフェリー	S・AS (記録)
設定時間 11分前	記録席前で両チームキャプテンを呼び、トスを行う。 両チームキャプテン、監督に記録用紙の登録選手を確認してもらい、サインをもらう。 (監督はプロトコール前でもかまわない)	トスに立ち会い、両チームのコートと【サーブを打つ】権利を得たチームを確認する	両チームのコートと【サーブを打つ】権利を得たチームを確認し、記録用紙に記入
<p>【コイントスについて】 トスに勝ったチームは以下の権利から1つ選ぶ。 ① 【サーブを打つ権利】 ② 【サーブを受ける権利】 ③ 【コートを選ぶ権利】 トスに負けたチームは相手チームが選んだ権利以外から選ぶ。</p> <p>【公式練習について】 1st レフェリーはコイントスの際に、公式練習を【合同】か【別々】かをキャプテンに確認する。 (別々の場合) 【サーブを打つ】権利を得たチームから公式練習を始める。 公式練習開始のホイッスルを1st レフェリーが行う⇒3分後、2nd レフェリーがホイッスル⇒3分後、1st レフェリーがホイッスル (合同の場合) 公式練習開始のホイッスルを1st レフェリーが行う⇒6分後、1st レフェリーがホイッスル</p>			
公式練習中	ラインジャッジとミーティング 審判台の確認 スターティングメンバーの確認	チームメンバーが記録用紙に記載された通りか確認 *記録員とは別々で チームより提出されたスターティングメンバーが登録メンバーかどうか確認 スターティングメンバーが記録用紙に記入されたか確認	チームメンバーが記録用紙に記載された通りか確認 *2nd レフェリーとは別々で チームより提出されたスターティングメンバーが登録メンバーかどうか確認 正しいメンバーであれば、記録用紙に記入。正しくなければチケットをチームに返し、訂正してもらう
公式練習終了後、チームはエンドラインに速やかに整列。(チームがミーティングをする時間はありません。審判員は速やかに並ばせる。) 1st レフェリーの吹笛でネットをはさんで握手。			
ラインアップチェック	2nd レフェリーが促してもコートに入らないチームがあれば、コートに入るように促す。それでも従わないチームにはゲームキャプテンを呼んで、遅延警告を与える。 チームキャプテンがコートにいない場合はゲームキャプテンを確認する。 2nd レフェリーが両手を上げるのを確認すれば、サービス許可の吹笛をする。 (試合開始)	スターティングの6人を速やかにコートに入れる。 必ず両チームを入れてからチェックしてください。 サービングチームから確認する。 *記録員とは別々で 記録が合図を確認したらリベロの交代を許可する。 その後、レシービングチームの確認。 記録の合図を確認できたら、ボールをサーバーに送る。 記録が両手を上がったことを確認すれば、両手をあげて、1st レフェリーに合図を送る。	サービングチームから確認。 *2nd レフェリーとは別々で 確認できたら2nd レフェリーに合図する。 その後、レシービングチームを確認。 サーバーを確認して、準備ができたなら2nd レフェリーに両手を挙げて合図する。 サービス許可の時間を試合開始の欄に記入 (試合開始並びに1セット目の開始時間)

4. 試合中について

	1st レフェリー	2nd レフェリー	S・AS (記録)
基本の位置の取り方	基本的に、ボールがあるサイドに1歩身体を移動させてプレーを確認する。	基本的に 1st レフェリーとは反対側、つまりボールがないサイドに立ち、プレーを確認する。 ブロッカーの手からセンターラインが視野に入る位置に立つ。 ラリー終了後は、負けたチーム側に移動し、タイムアウトやサブステイテューションの要求がないかを確認する。	
サービス時	I サービス許可 両チーム準備ができたことを確認後 II サービス時の反則 ・8秒ルール ・サーバーのフットフォルト ・ポジショナルフォルト	I サービス時の反則 ・ポジショナルフォルト ポジショナルフォルト確認後、サービスボールが許容空間内を通過するか(2nd レフェリー側のアンテナ)を確認し、ブロックサイドに移動	サーバーを確認し、ロングサーブの場合はサービスを打った瞬間に2nd レフェリーに伝える。
<p>ロングサーブが起こった場合・・・</p> <p>① 2nd レフェリーはホイッスルをしてゲームを止め、スコアラーとスコアシートを確認。</p> <p>② 再度ホイッスルし、ポジショナルフォルトのハンドシグナルを示す。</p> <p>③ ゲームキャプテンを呼び状況を説明し、次のサーバーを伝えて正しいポジションに着かせる。</p>			
アタック時	一歩分の攻撃側に身体を移動し、必ず制止してプレーを見る。 ☆見るポイント☆ ① アタッカーのタッチネット ② キャッチ ③ ボールコンタクト ④ オーバーネット ⑤ バックアタック時のアタックラインの踏み越し	ブロックサイドに立ち、必ず制止してプレーを見る。 1st レフェリー側での攻撃時は、サイドライン際に移動してプレーを見る。 ☆見るポイント☆ ① タッチネット ② ペネトレーションフォルト ③ ボールコンタクト ④ バックアタック時のアタックラインの踏み越し ボール通過後もネット際に目を残し、ネット際に選手がいなくなったらボールを見て次のプレーに備える。	
判定時	ホイッスルし、必要なラインジャッジ・2nd レフェリーを確認後、最終判定を出す。 (焦らず確認してから判定すること)	パンケーキのケースは、落ちたことが確認できた場合、2nd レフェリーはホイッスルできる。 2nd レフェリー側のマーカー、あるいはボールにボールが当たった場合は2nd レフェリーがホイッスルする。	

5. 試合中断の要求について

☆タイムアウト☆

	1st レフェリー	2nd レフェリー	S・AS (記録)
タイムアウトについて	<p>2nd レフェリーが吹笛した場合、吹笛もハンドシグナルも必要はない。</p> <p>ただし、監督またはキャプテンの要求に2nd レフェリーが気づかない場合は吹笛をして、タイムアウトを許可する。</p> <p>両チームの動向をチェックする。</p> <p>部外者が入っていないか等</p> <p>2nd レフェリーの合図を確認して、サービス許可の吹笛</p>	<p>監督またキャプテンのタイムアウト要求を確認すれば、ハンドシグナルを示しながらホイッスルする。</p> <p>その後要求したチームを示し、計時を始める。</p> <p>両チームをベンチに戻らせる。</p> <p>記録席に行き、次のサーバー、タイムアウトの回数の確認。</p> <p>タイムアウトが2回目であれば、1st レフェリーに通告。(タイムアウト中)</p> <p>30秒で吹笛をして、コートに入れる。2回目の場合は監督に通告</p> <p>ボールをサーバーに渡し、2nd レフェリーの合図を確認したら、両手を挙げて、1st レフェリーに合図を送る。</p>	<p>タイムアウトを記録する。</p> <p>2nd レフェリーに以下のことを使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のサーバー ・反対チームの次のサーバー ・タイムアウトの回数 <p>A S はリベロのイン・アウトを伝える。</p> <p>サーバー、メンバーを確認して準備ができたなら両手を挙げて 2nd レフェリーに合図を送る。</p>

☆選手交代☆

	1st レフェリー	2nd レフェリー	S・AS (記録)
1組の選手交代の場合	<p>得に何もしない</p>	<p>交代選手がサブスティテューションゾーンに入ったとき、ホイッスルしハンドシグナルを示す。</p> <p>立ち位置は、サイドラインと記録席の中間ぐらいの位置。</p> <p>スコアラの片手を挙げるのを確認し、手の合図で交代させる。</p> <p>スコアラから両手が上がるのを確認し、1st レフェリーに両手を挙げる</p>	<p>ナンバーを確認し正当な交代であれば、片手を上げる。</p> <p>選手交代の記録を完了したら、両手を上げる。</p>

☆選手交代（続き）☆

2 組以上の選手交代の場合	得は何もしない	<p>交代選手がサブスティテューションゾーンに入ったとき、ホイッスルしハンドシグナルを示す。</p> <p>1 組目の選手交代を行っている間、2 組目以降の交代選手を佐渡ラインから離れた位置（記録席横辺り）に待機させる。</p> <p>スコアラーの片手を挙げるのを確認し、手の合図で 1 組目を交代させる。</p> <p>スコアラーから両手が上がるのを確認し、2 組目以降の選手交代を行う。</p>	<p>ナンバーを確認し正当な交代であれば、片手を上げる。</p> <p>1 組目の選手交代の記録を完了したら、両手を上げる。</p> <p>2 組目以降を動揺の手順で記録を完了し、両手を上げる。</p>
両チーム同時に選手交代の要求があった場合	特に何もしない	<p>交代選手がサブスティテューションゾーンに入ったとき、ホイッスルしハンドシグナルを示す。</p> <p>必ずどちらのチームから選手交代を行うかを記録席に伝える。</p> <p>スコアラーの片手を挙げるのを確認し、手の合図で交代させる。</p> <p>スコアラーから両手が上がるのを確認し、反対サイドに移動しホイッスルしながらハンドシグナルを示す。</p> <p>後の手順は同じ。</p>	<p>ナンバーを確認し正当な交代であれば、片手を上げる。</p> <p>選手交代の記録を完了したら、両手を上げる。</p> <p>後の手順は同じ。</p>

6. セット終了について

	1st レフェリー	2nd レフェリー	S・AS（記録）
セット終了後	<p>2nd レフェリーからの通告を確認し、セット終了のシグナルを示し、エンドラインに選手を整列させる。</p> <p>コートチェンジをさせる。</p> <p>セット間の計時を開始する。（2分30秒）</p>	<p>スコアラーからの通告を確認し、胸の前で腕をクロスし 1st レフェリーにセット終了を伝える。</p> <p>セット間の計時を開始する。（2分30秒）</p>	<p>スコアラーは、記録用紙のセットポイントの得点を消し、両腕を胸の前でクロスし、セット終了を 2nd レフェリーに伝える。</p>

7. セット間～時セット開始について

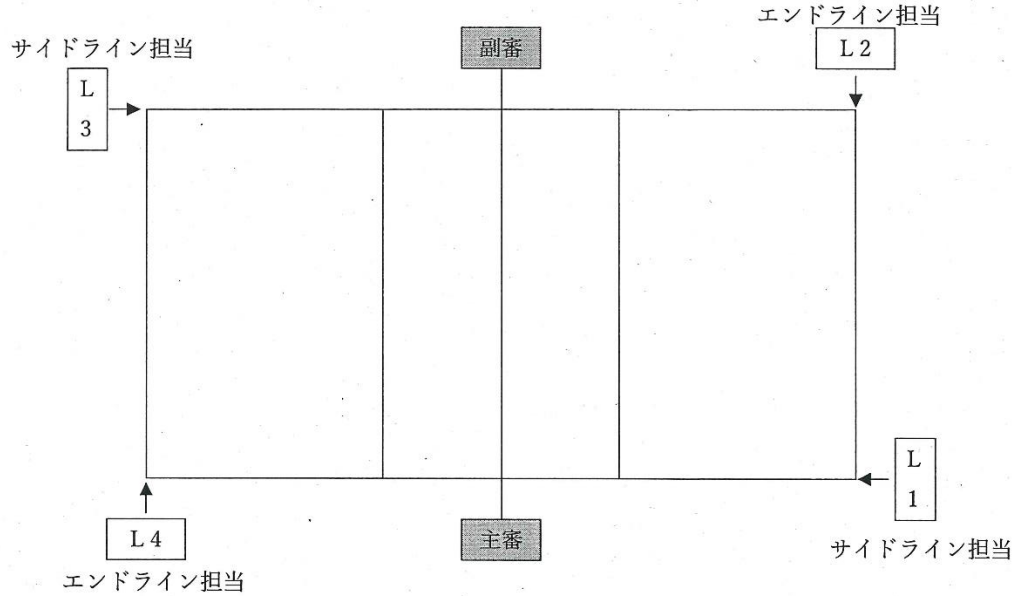
セット間	<p>両チームの状況を確認する。</p> <p>後の手順は、第 1 セット開始と同様</p>	<p>両チームからラインアップシートを受け取り、登録メンバーか確認してから記録に渡す。</p> <p>計時開始から 2 分 30 秒後にホイッスルし、両チームをコートに入れる。</p> <p>後の手順は、第 1 セット開始と同様</p>	<p>セットの結果の集計・記入を行い、次のセットの必要事項を記入する。</p> <p>後の手順は、第 1 セット開始と同様</p>
試合終了	<p>2nd レフェリーからの通告を確認し、セット終了のシグナルを示し、エンドラインに選手を整列させる。</p> <p>ゲーム終了をホイッスルする。</p> <p>2nd レフェリーが確認した記録用紙を、再度確認しサインする。</p>	<p>スコアラーからの通告を確認し、胸の前で腕をクロスし 1st レフェリーにセット終了を伝える。</p> <p>記録用紙が完成後、記録内容を可確認しサインする。</p>	<p>スコアラーは、記録用紙のセットポイントの得点を消し、両腕を胸の前でクロスし、セット終了を 2nd レフェリーに伝える。</p> <p>両チームキャプテンのサインを採り、記録用紙を完成させる。</p> <p>完成後がサイン、その後スコアラーもサインをし、2nd レフェリー、1st レフェリーに確認してもらう。</p> <p>、</p>

8. ラインジャッジについて

ラインジャッジについて

【レベル0（基本徹底事項）】

1. 担当ライン・立ち位置・姿勢



- ・コート各コーナーから2 m離れ、ラインは身体の中央にして立つ。

《構え方》

- ・ラリー中、足は肩幅に開いて膝を軽く曲げ、フラッグは膝の裏に隠して構える。
- ・右手でフラッグを持つ場合、左足を半歩ほど前に出して構える。
- ・ボールを判定するときは、必ず低い姿勢でボールを見ること。
- ・ボールデッドの時は、気をつけの姿勢で待つ。フラッグは体側に持っておく。

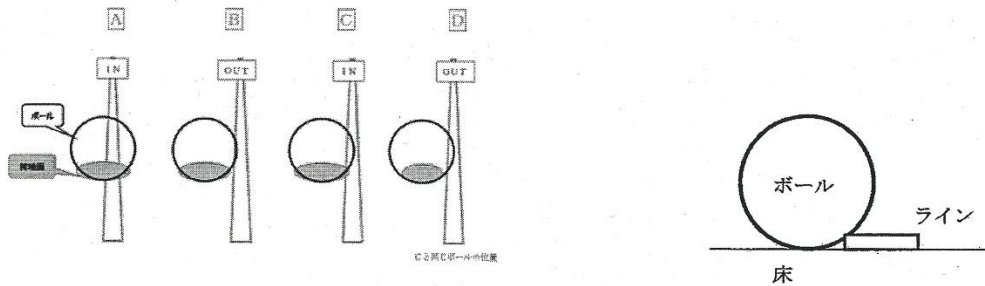
《フラッグの持ち方・出し方》

- ・フラッグの持ち手に人差し指を添えて握り、肘が曲がらないようまっすぐにフラッグを出す。
- ・構えた姿勢のまま左足を一歩前に出しながらフラッグシグナルを出した後、姿勢を正して必ず主審を見る。
- ・主審がシグナルを出し始めるまで、フラッグは下げない。

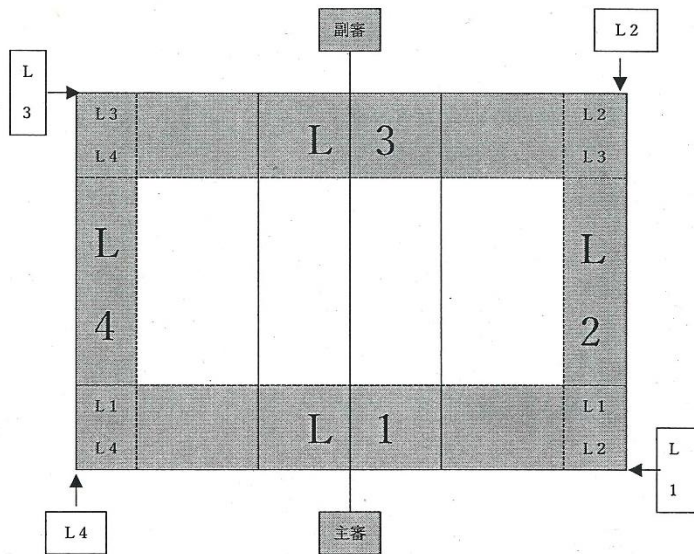
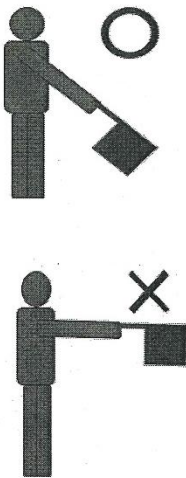
2. フラッグシグナルについて

ボールイン

担当ラインから2 m程度の範囲に落ちたボールを判定する。

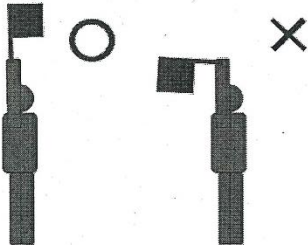


ボールイン～続き～



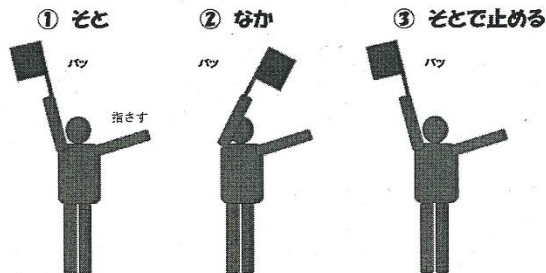
ボールアウト

担当ラインの外側（自分の左手側）に落ちたボールについては、ボールが地面に着いた時点でシグナルを出す。



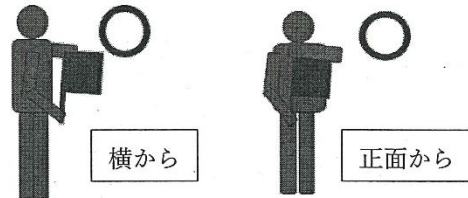
ラインクロス

サーバーがエンドラインを踏んでサーブを打った時、またはサイドライン外側に足を踏み出してサーブを打った時、フラッグを持っていない手でラインを指さし、フラッグを一往復する。主審が気づくまで、シグナルを保持。



ボールコンタクト

選手がボールに触れて（ブロック・レシーブなど）、コート外に出たボールが地面に着いた時点で、シグナルを出す。（詳しくは、レベル1を参照）



マーカーに関する反則

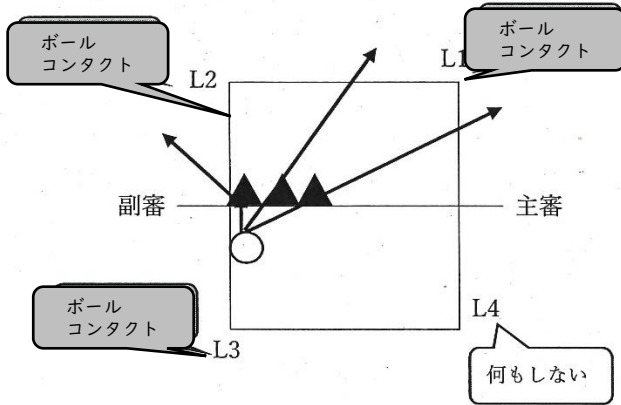
アンテナ、アンテナ外ネット、支柱、審判台、その他フリーゾーン内の物体にボールが触れたことが確認できた時、フラッグを一往復。（詳しくは、レベル2を参照）

【レベル1 (ワンタッチのシグナルを出すケース)】

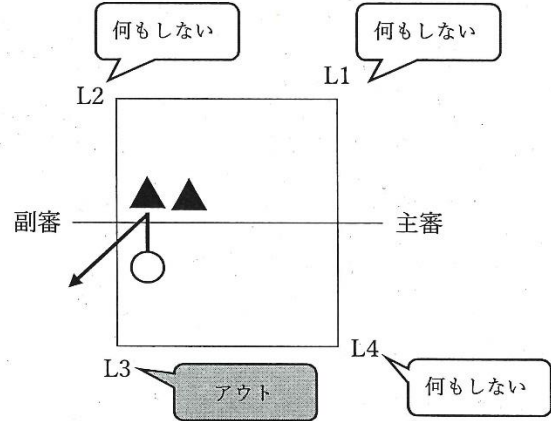
*自分の担当ラインに関係なく、ワンタッチを出すケースがたくさんある！！

(○=アタッカー、▲=ブロッカー、●=レシーバー)

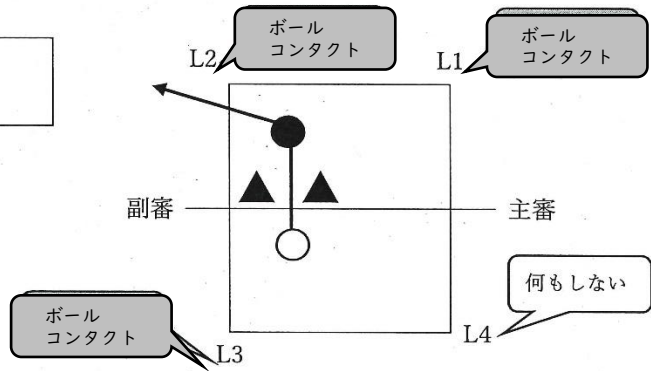
レフト側から打ったスパイク・ボールが
ブロックに触れて相手コートの外に出た場合
*ライト側は逆 (L4がワンタッチ
L3は何もしない)



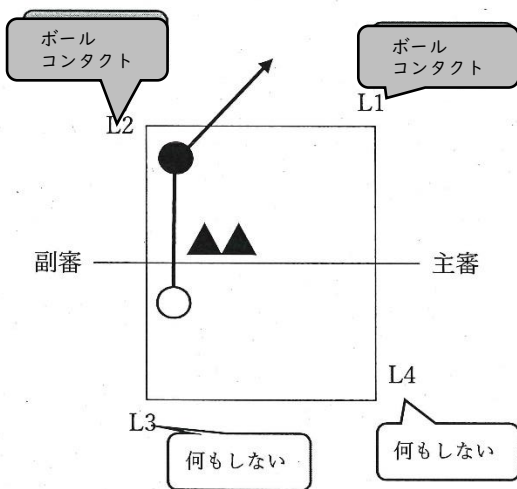
スパイク・ボールがブロックに触れて
スパイク側サイドラインの外に出た場合
*ライト側は逆 (L1だけがアウト)



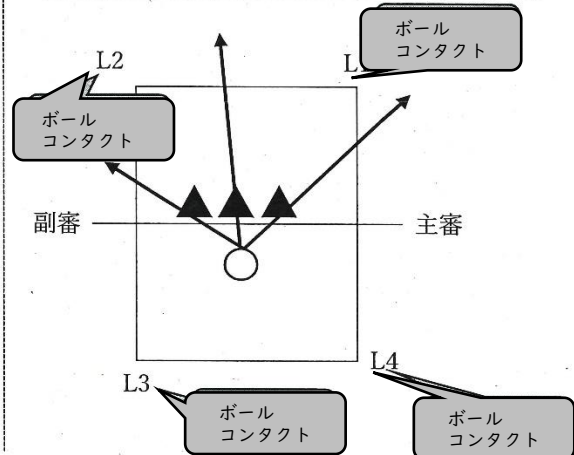
スパイク・ボールがレシーバーに触れて
スパイク側サイドライン外に出た場合



スパイク・ボールがレシーバーに触れて、
エンドラインの外に出た場合



センターから打ったスパイク・ボールがブロ
ックに触れて相手コートの外に出た場合
(クイック・バックアタックなど)

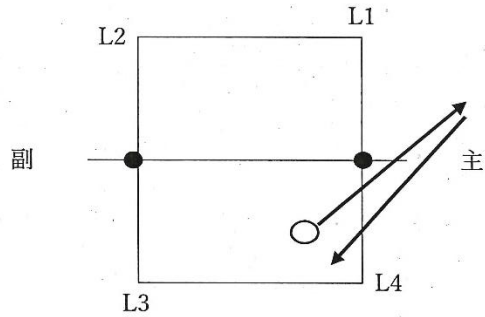


【レベル2 (アンテナの取戻しのケース)】

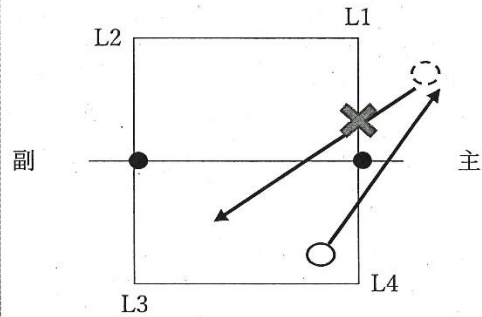
いわゆるアンテナの「外側」→「外側」のみOK!!

ダメなケースはすべて旗を振る!!

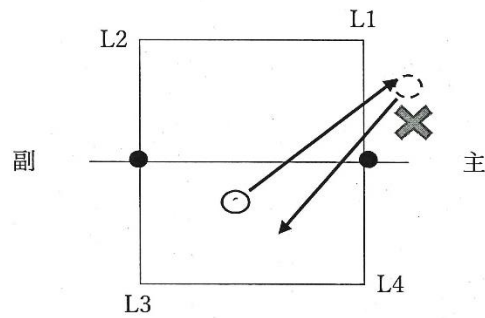
(○) 「外側」→「外側」のケース



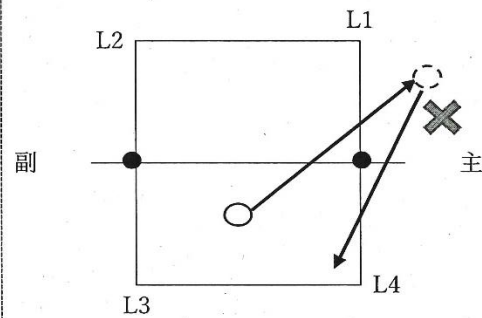
(×) 「外側」→「内側」のケース



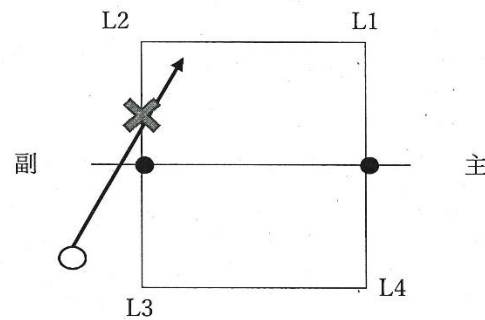
(×) 「内側」→「内側」のケース



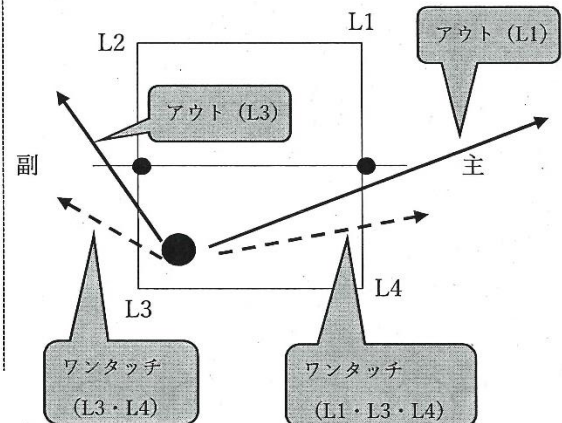
(×) 「内側」→「外側」のケース



アンテナ外から相手コートにボールが入った場合



ワンタッチかアウトかのケース



【レベル3 (パンケーキの判定ケース)】

・コートの中中でも、ボールが落ちたかどうか主審が確認しにくいケース (いわゆる「パンケーキ」) の場合は、斜め前でパタパタと床をたたくようなシグナルを出す。p

* ボールが落ちたコートのラインジャッジが出す。

—試合中—

- スターティングでコートに入っているメンバーが正しいかを確認する。
 ⇒⇒⇒正しい場合は、副審に手を挙げて正しいことを伝える。・・・⑪
- 両コートのスターティング確認後、準備が整ったことを副審に両手を挙げて伝える。・・・⑫
- サーバーを確認後、サーブを打つチームの①のサーバーの1回目のサーブ欄①の数字に✓を記入する・・・⑬
- 第1セットの最初のサーブが打たれた時刻を第1セットの開始時刻欄に記入する・・・⑭
- 得点が入ったら、得点欄の数字を「/」で消す。(右上から左下)・・・⑮

→ サーブ権を持っているチームが得点をした場合⇒得点欄の数字を「/」で消す。
 サーブ権を持っていないチームが得点をとった場合⇒

- ① サーブ権を持っていたチームのその時の得点をサーブ欄①に記入する。
- ② 得点を取ったチームの得点欄の数字を「/」で消す。
- ③ 次のサーバーを確認後、サーバーのサーブ欄の数字に✓を記入する。

- 試合中は、⑮にある作業を繰り返す。
- タイムアウトがあれば、とったチームのタイムアウトの欄に得点を記入する・・・⑯
 (*左側：タイムアウトを取ったチームの得点、右側：相手チームの得点)
 2回目のタイムアウトは副審に伝える。⇒ 副審は主審と監督に伝える。
- メンバーチェンジがあれば、交代選手の背番号の下に代わって入る選手の背番号を記入・・・⑰
 ⇒ その後、メンバーチェンジ時の得点を記入 (左側：自チーム、右側：相手チーム)
- 一度出た選手がもう一度コートに戻るメンバーチェンジは、コートを出る選手の背番号に○を記入する (5回目と6回目の交代は、副審に伝える)

<メンバーチェンジの手続き>

- ① 交代する2人の選手の背番号を確認できたら片手を挙げる。
- ② 背番号と得点を所定の欄に記入する。
- ③ 書き終わったら、両手を挙げる。

—セット終了時に行うこと—

- 胸の前で、腕をクロスさせてセット終了を副審に伝える。
- 終了時刻を記入し、サーブチェック欄の両チームの最終得点を○で囲む。・・・⑱
- セットの最終得点がレシーブチームの場合、次のサーバーのサーブチェック欄に最終得点を記入し○で囲む。その際、数字に✓をつける必要はない。・・・⑲
- 得点欄の残っている点数を「X」で消す。・・・⑳

		開始 : チーム						得点			チーム 終了 :						得点																																																																																									
		① ② ③ ④ ⑤ ⑥						⑦ ⑧ ⑨			⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲						⑳ ㉑ ㉒																																																																																									
チーム構成	サービス順	第1セット												タイムアウト			タイムアウト																																																																																									
	スターティングプレーヤー																																																																																																									
	選手交代	番号																																																																																																								
		交代時得点																																																																																																								
サービスのチェック欄		1回目	5回目	2回目	6回目	3回目	7回目	4回目	8回目	1	5	2	6	3	7	4	8	1	5	2	6	3	7	4	8	1	5	2	6	3	7	4	8	1	5	2	6	3	7	4	8																																																																	
		1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	10	19	28	37	1	10	19	28	37	2	11	20	29	38	2	11	20	29	38	3	12	21	30	39	3	12	21	30	39	4	13	22	31	40	4	13	22	31	40	5	14	23	32	41	5	14	23	32	41	6	15	24	33	42	6	15	24	33	42	7	16	25	34	43	7	16	25	34	43	8	17	26	35	44	8	17	26	35	44	9	18	27	36	45	9	18	27	36	45
		2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	タイムアウト			タイムアウト			タイムアウト			タイムアウト																																																																															
		3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7																																																																																									
		4	8	4	8	4	8	4	8	4	8	4	8	4	8	4	8																																																																																									

<余裕があれば・・・>

- 最終結果欄に各チームのタイムアウトの回数、競技者交代の回数、勝の欄（勝ちチームに「1」、負けチームに「0」）、得点、セットの所要時間（数字のみ）を記入する。0の場合は、「0」を記入。

（*競技者交代の数はスターティングメンバーが出て、もう一度戻った場合2回と数える）

・・・㉑

—最終セットの記入の注意事項—

- コイントス後、Aコートに入ったチーム名を左側・Bコートに入ったチーム名を右側に記入し、○にA・B（対戦チーム欄のA・Bに合わせて）を記入する。・・・㉒
- スターティングメンバーを各チーム記入し、Aに入ったチームのスターティングメンバーを右端の欄にも記入する。・・・㉓
- コートチェンジ時にAサイドのチームがそれまでに取ったタイムアウトとメンバーチェンジを右端の欄にも書き写す。㉔
- コートチェンジ時のAサイドのチームの得点をコート交代時の点数の○に記入し、右端の欄のそれまでの点数は「上」で消す。・・・㉕

チーム構成	サービス種	スターティングプレーヤー	第3セット												タイムアウト	コートチェンジ	タイムアウト																		
			開始		チーム						チーム							終了		コートチェンジ時の得点						得点									
			I	II	III	IV	V	VI	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
選手交代	番号	交代時	得点																																
サービスのチェック欄	1回目	4回目	5回目	6回目																															
	2回目	3回目	4回目	5回目																															
	3回目	4回目	5回目	6回目																															

—試合終了後に行うこと—

- 最終結果欄に各チームのタイムアウトの回数、競技者交代の回数、勝の欄（勝ちチームに「1」、負けチームに「0」）、得点、セットの所要時間（数字のみ）を記入する。0の場合は、「0」を記入。

（*競技者交代の数はスターティングメンバーが出て、もう一度戻った場合2回と数える）

・・・㉖

- 最終結果欄に、全セットの合計・試合開始時間・試合終了時間・所要時間（試合開始から試合終了までの時間（=各セット所要時間+セット間の時間【(セット数-1)×3分】）・勝利チーム名・セットの結果を記入する。・・・㉗
- 必要事項をすべて記入後、スコアラーがサインする（アシスタントがいれば、アシスタントから）
- 両チームのキャプテンサイン、副審、主審にサインをもらう。・・・㉘

審判員とサイン欄			
審判員	氏名	都道府県	サイン
主審			
副審			
記録員			
アシスタント			
	1	2	
	3	4	
	A	B	

試合結果											
チーム				A		B		チーム			
タイムアウト	選手交代	勝	得点	セット(時間)	得点	勝	選手交代	タイムアウト			
				I ()							
				II ()							
				III ()							
				計 ()							
試合開始時刻				試合終了時刻			試合所要時間				
h min				h min			h min				
勝利チーム											

記録員のシグナル・注意事項

①セット開始・タイムアウト明け

- ・両手を副審に向かってあげる。(持っているペンは必ず置くこと)

②タイムアウトについて

- ・タイムアウトの間に、副審に次のサーバーを伝える。(両チームとも)
- ・2回目のタイムアウトの時は、タイムアウト2回目であることも伝える。
アシスタントスコアラーがいる場合、副審にリベロのイン・アウトを伝える。
- ・タイムアウト終了後、両チームコートに入ったことを確認し、副審に両手をあげる。

③メンバーチェンジについて

- ・コートから出る選手とコートに入る背番号を確認でき次第、片手をあげる。
(このシグナルは副審が確認後、下ろしてよい)



その後、記録用紙の点数に従ってメンバーチェンジ時の点数を記入。



記入完了後、両手を副審に挙げる。

- ・5回目と6回目のメンバーチェンジは副審に5回目・6回目であることを伝える。

④セット終了・試合終了について

- ・セット終了・試合終了ポイントが入ったのを確認後、両腕を胸の前でクロスさせる。

大会名												全国6人制バレーボール優勝大会												試合番号												15												開催日												2018年4月10日												試合開始時刻												18:00																																																																							
開催地												名古屋市												会場名												名古屋市レインボーホール												男子												<input type="checkbox"/>												女子												<input checked="" type="checkbox"/>												対												青												対												赤												A											
サーブ記録																								不正な請求																								【特記事項】																																																																																																											
第1セット																								第2セット																								第3セット																																																																																																											
サーブ記録																								不正な請求																								審判員とサイン簿																																																																																																											
サーブ記録																								不正な請求																								監督員とサイン簿																																																																																																											
サーブ記録																								不正な請求																								試合結果																																																																																																											